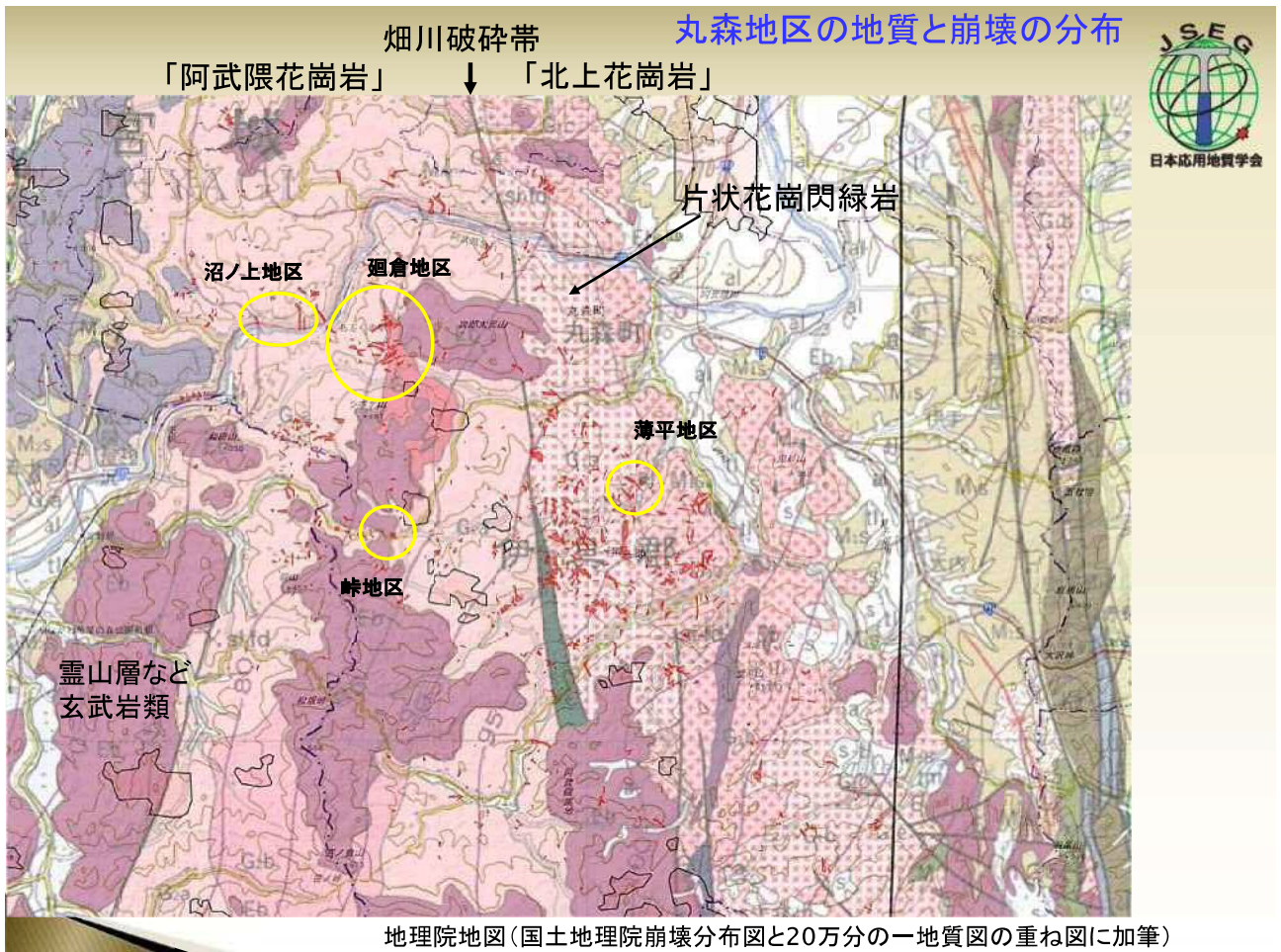




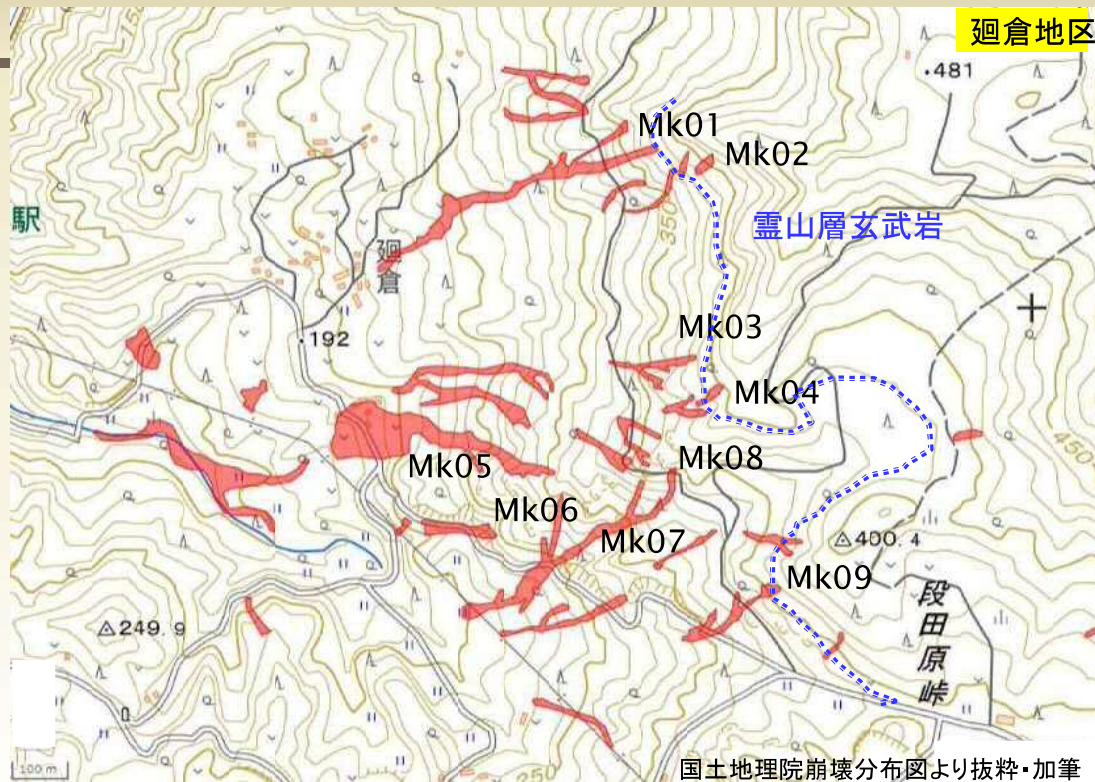
日本応用地質学会

令和元年台風19号災害 丸森地区(廻倉・薄平・峠・沼ノ上地区) 斜面災害の概要

一般社団法人日本応用地質学会丸森地区調査班
(高見智之・村上智昭・橋本修一・小林俊樹・橋本智雄)



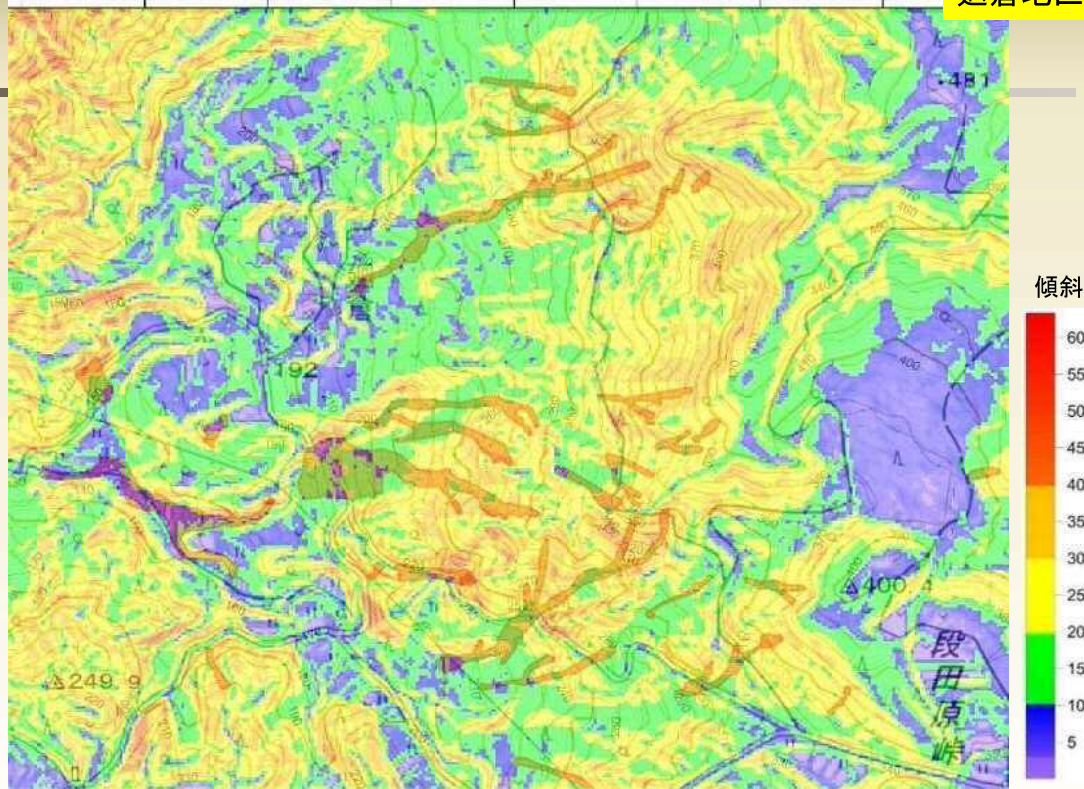
廻倉地区の崩壊・土石流と地質境界



国土地理院崩壊分布図より抜粋・加筆

キャップロック構造をなす玄武岩と花崗岩の境界付近を崩壊源とするものもあるが、多くは花崗岩類の30°前後の谷型斜面で発生し、土石流化して崖錐～沖積錐の緩斜面上で停止している。

廻倉地区



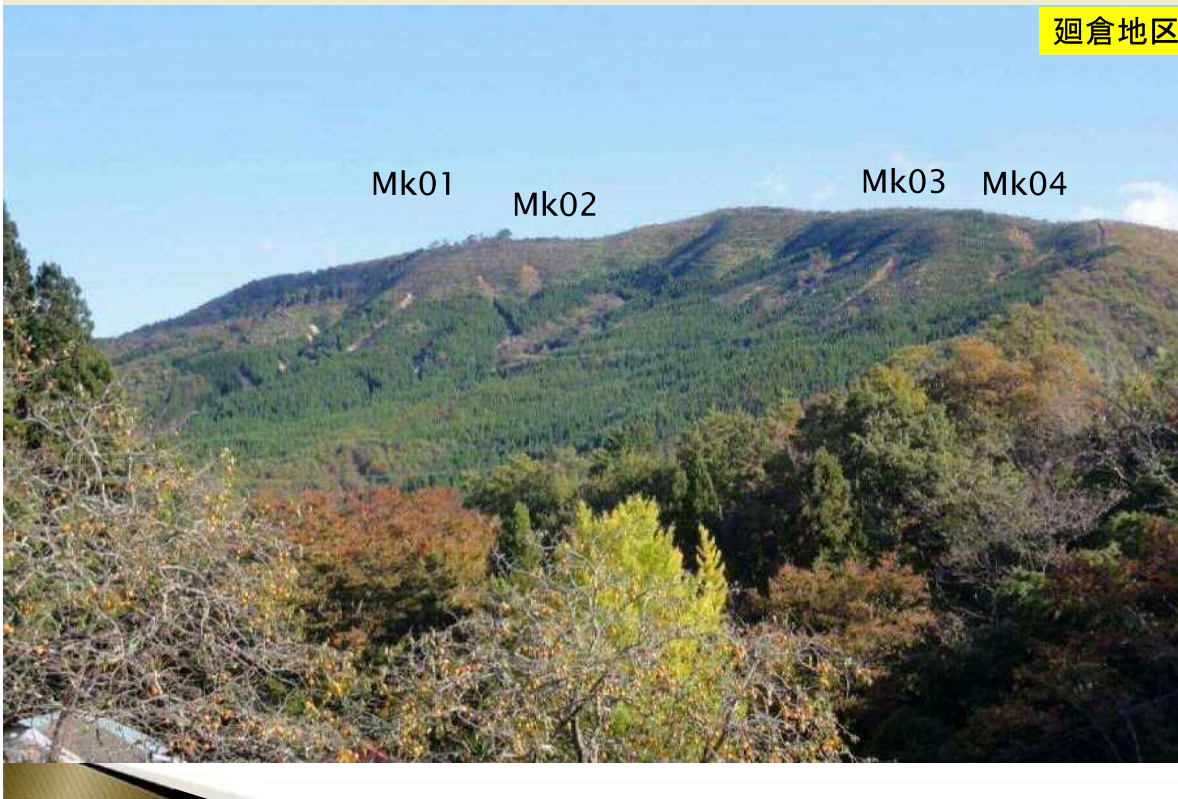
傾斜区分図と崩壊土石流分布 傾斜30度前後で発生し、傾斜10度までで停止している

(国土地理院5mDEMから等高線図と傾斜区分図を作成、国土地理院崩壊分布図と重ね合わせ)

廻倉地区の斜面崩壊・土石流



廻倉地区

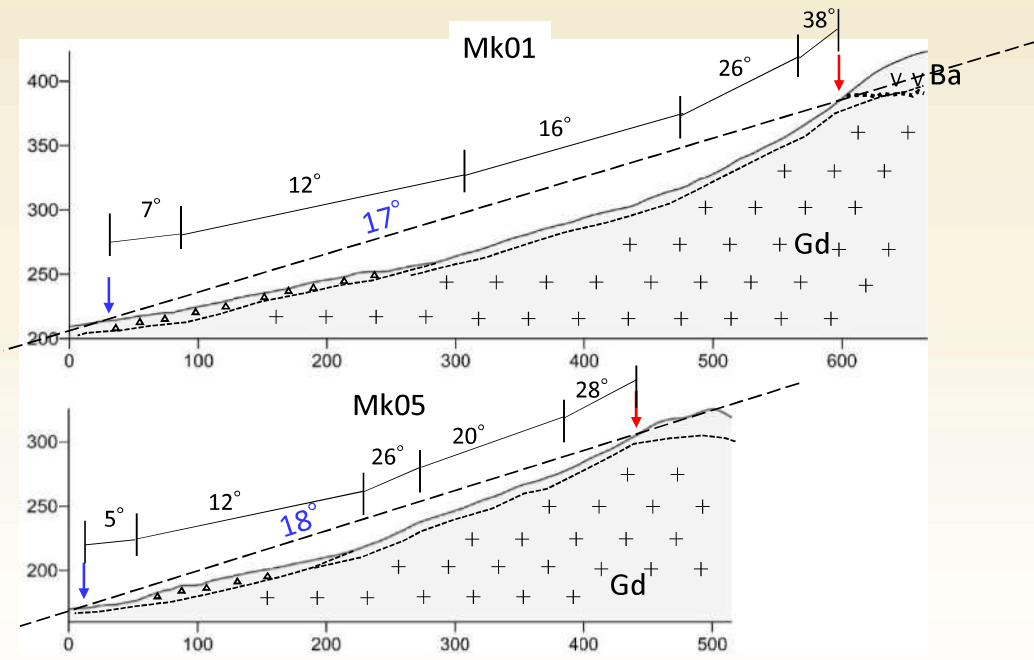




廻倉地区の斜面崩壊・土石流



廻倉地区



国土地理院5mDEMより作成・計測

廻倉地区の斜面崩壊・土石流



廻倉地区



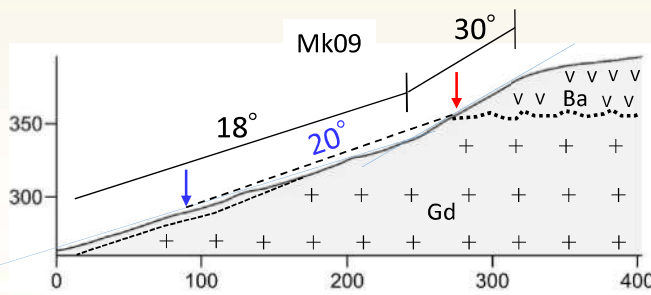
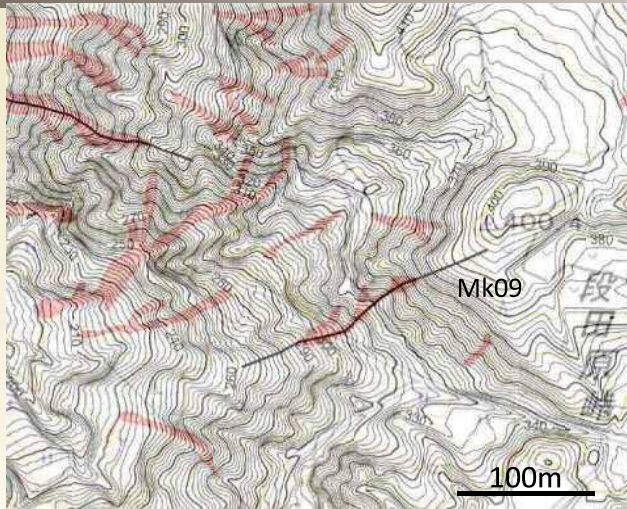
崩壊源頭部(花崗岩と玄武岩の境界付近)



廻倉地区の斜面崩壊・土石流



廻倉地区



国土地理院5mDEMより作成・計測

薄平地区の土石流災害



薄平地区



(母屋の二階に避難して
全員助かったそうだ)

峠地区の地すべり災害



日本応用地質学会

峠地区



国土地理院撮影

峠地区の地すべり災害



日本応用地質学会

峠地区



酪農家の民地で、地すべりが生じた斜面はもともと、数段の畑であった。土砂の下に水路があり、それに沿って古い墓があった。(番所役人の墓だったらしい)写真右端の牧草貯蔵庫が傾倒し破損している。

移動体を構成する霊山層強風化玄武岩。表面は乾燥してスレーキングして軟質化。



阿武隈川左岸の崩壊・土石流



沼ノ上地区

西風沢東の沢

阿武隈川左岸の崩壊・土石流

沼ノ上地区



左の竹林まで急傾斜地対策により法枠工施工済み。被災した人家は、裏に緩斜面のスペースがあった。

風化花崗岩中の不明瞭化した東西方向の節理。急傾斜の流れ盤(逆目盤)。



崩壊は2か所で発生して下部で流下土砂が合流。岩塊は少なく、ほとんどが砂状の土砂。



崩壊面中部に露出する弱風化の花崗閃緑岩。
東西方向の節理面が流れ盤をなす。



溪流出口部に堆積した巨礫。径1～3m。